



2025 年 11 月 27 日

ディーエムソリューションズ株式会社

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期） 決算補足説明資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2025 年 11 月 12 日（水）発表の 2026 年 3 月期第 2 四半期決算に関して、発表日以降に株主・投資家などの方々からいただいたご質問及びお問い合わせについて、当社の回答をまとめたものです。なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであり、皆様のご理解を賜ることを目的として一部に内容・表現の加筆、修正を行っております。

Q1： 当第 2 四半期までの業績について、DM 発送代行サービス、フルフィルメントサービスが好調である一方、インターネット事業の低迷と新センター開設の成長投資により減益。また、今期も例年通り下期偏重の予算計画で、第 3 四半期以降での業績伸長を図るとのことですが、上期の評価と下期以降の展開について教えてください。

A： DM 発送代行サービスとフルフィルメントサービスについては、上期において、下期以降の受注が進んでおり、業績の積み上げに手ごたえを感じております。また、インターネット事業は、低迷が続いているものの、予算配分も少なく、人的資源の社内シフトも進んでおり、下期で業績を押し下げる要因とはなりません。

Q2： 前期に開設した国立フルフィルメントセンターや今期開設の八王子第 6 フルフィルメントセンターといった大型 EC 物流施設の稼働状況について教えてください。

A： EC 物流関連の新規案件は、積み上がりが順調で、前期、今期の開設のセンターも含めて、稼働率は、85%程度となっております。受注案件の増加による稼働率向上に加えて、センター内の業務効率化も日々進んでおり収益性を確実に高めていけると考えております。

Q3： 株主還元拡大の背景について教えてください。

A： 配当、優待については、スタンダード市場において見劣りをしないようにと常々経営陣で議論しております。第1四半期では社内計画通りの業績進捗から配当予想の増額を行い、また、今回は、当社の銘柄魅力向上のために、個人投資家様から喜ばれやすい優待品への変更、優待品の充実、保有区分の新設も実施しました。今後も株主の皆様のメリットを勘案した株主還元を意識して参ります。

【本リリースに関するお問合せ先】

ディーエムソリューションズ株式会社 管理本部

TEL: 0422-57-3921 E-MAIL: ir@dm-s.co.jp

